

令和2年度事業報告

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、会員が豊富な経験と知識、技能を生かしながら健康を保ち喜びと生きがいをもって、地域社会に参加し、貢献してまいりましたが、会員の高齢化、独自事業の拡大等、多くの課題をかかえている状況が続いております。

この状況を開拓するために新会員の加入と就業機会の拡大を最重点目標に掲げ、シルバー事業の普及を図るための啓発活動を積極的に実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、入会説明会の中止や人数制限を行ったため、会員数については昨年度より減少する結果となりました。

また、高齢者が生涯現役で活躍し続けられるよう就業機会の提供と確保にも努めましたが、一部公共事業の契約終了や新型コロナウイルス感染症の影響による業務の減少により、契約金額が前年度を下回る結果となりました。

のことから、今後においては、会員の安全対策に取り組み、就業機会の拡大を図るとともに、会員の増加についてはセンターの活性化を図るうえで必要不可欠であることから、引き続き最重要課題として取り組んでまいります。

なお、東支所(高田寺起返)は、市の公共施設の統廃合により、令和3年3月末をもって廃止し、事務局体制を本部に統合しました。

1 事業の普及啓発

- (1) センターの機関紙「シルバーだより」を8月と1月の年2回市広報紙に折込み市内全世帯に配布し、センターの普及啓発に努めました。
- (2) 市広報「北名古屋」、地域情報誌「北名古屋市民タイムズ」に、会員募集などの情報を提供し、センター事業の普及啓発に努めました。
- (3) 10月のシルバー会員・就業拡大強化月間においては、啓発看板やマグネットシート等により会員募集と就業開拓に努めました。
- (4) センターのホームページを随時更新し、センターの啓発に努めました。
- (5) 北名古屋市循環バス車内及び公共施設に会員募集ポスターを掲出し、会員の拡大に努めました。
- (6) 東支所廃止について、混乱の生じないよう発注者と会員に11月～3月の間、振込先、本部の所在地等の案内文を送付しPRに努めました。

2 組織の状況

- (1) 令和2年度は、入会者44名、退会者80名（うち物故者7名）で、年度末会員数は702名となり、昨年度より36名減（前年度比4.9%減）となりました。これは、昨年同様、7月、10月「会員紹介カード」による全会員「新会員一人確保」運動を展開したが、新型コロナウィルス感染症の影響により、入会説明会の回数減少及び人数制限による入会機会の減少、シルバーの日及び会員互助会の各種イベントの中止、会員の高齢化が影響したと思われます。また、退会された会員の内、病気・高齢の理由で退会された会員は半数以上（57.5%）を占めました。
- (2) 入会説明会を、年間9回（毎月第3水曜日、令和2年4月～6月は中止）開催し、シルバー人材センターの役割、仕組み、安全就業、就業基準等について説明するとともに、理事等2名が参加し、先輩会員としての経験談等を話し、入会促進を図りました。
- (3) 市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会などの団体に働きかけ入会案内や事業協力を進めました。

3 事業実績

- (1) 事業の契約金額は、2億7,479万円で、前年度に比べ3,777万円減（12.1%減）、また、配分金の総額は、2億1,826万円で、前年度より3,868万円減（15.1%減）となりました。
- 年間就業延人員は、7万3,899名で、前年度より8,618名減（10.4%減）となりました。

| 区分 年度 | 契約金額 (万円) | 配分金収入（万円） | | | | 年間就業 延人員 (人) |
|----------|--------------|-----------|--------|-------|-------|--------------------|
| | | 事業所 | 公共 | 一般家庭 | 独自事業 | |
| 令和2年度 | 27,479 | 5,891 | 9,512 | 5,804 | 619 | 73,899 |
| 令和元年度 | 31,256 | 7,880 | 11,480 | 5,935 | 399 | 82,517 |
| 増 減 | △3,777 | △1,989 | △1,968 | △131 | 220 | △8,618 |
| 前年増減比 | △12.1% | △25.2% | △17.1% | △2.2% | 55.1% | △10.4% |

(2) 愛知県シルバー人材センター連合会北名古屋市事務所としての一般労働者派遣事業の契約金額は、2,435万円で、前年度に比べ583万円増(31.5%増)、また、会員賃金の総額では、1,916万円で、前年度に比べ467万円増(32.2%増)となりました。

年間労働者延人員は、474名で、前年度より60名増(14.5%増)となりました。

(3) 独自事業の木工部会は、在庫品の販売のみを行いました。

また、女性部会は、活動拠点のふれあいの家で、布製の小物等を作製し、展示販売や総会等の記念品を会員全員分受注し作製しました。

ふれあい農園部会は、各種農作物の生産を行い、市民の皆さんに販売するとともに、地産地消とシルバーの普及啓発に貢献しました。

高齢者生活支援部会は、独り暮らしの高齢者等に対する生活の手助けを行うとともに、「喫茶あけぼの」を営業し、憩いの場を提供しました。「喫茶あけぼの」については、東支所の老朽化により施設閉鎖のため令和3年2月末にて閉店しました。

「喫茶もえの丘」を令和2年10月に開店し、「喫茶あけぼの」に代わる憩いの場を提供するとともに、「ふれあい農園部会」で生産した農作物の販売と店の調理材料としての仕入れも行いました。

4 安全・健康管理

(1) 7月・1月の安全就業強化月間には、安全意識の高揚を図る看板を掲出するとともに、7月・11月には就業現場の安全パトロールを実施し、就業中の事故に対する注意喚起を呼びかけました。

(2) 安全就業と事故防止を図るため、6月に会員から安全標語を募集し、優秀作品を発表するとともに、毎月発行の「シルバーニュース」に事故防止の喚起記事を掲載するなど啓発に努めました。

(3) 11月に草刈機の操作方法及び危険防止の講習会を本部において開催しました。

(4) 事故発生状況は、傷害事故5件、損害賠償事故3件で、前年度と比べ傷害事故が2件増加しました。

事故発生時には、必要に応じ「事故防止調査」を行い善後策を進め再発防止に努めました。

(5) 公用車運転業務年齢制度を設け、委員会で決定し該当者に通知しました。

5 シルバーの日及び互助会フェスティバル

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は開催することができませんでした。

6 福利厚生等

3月開催の各地域班長が招集する地域班会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面通知等により対応しました。

また、就業中における熱中症等の健康管理を呼びかけました。

7 社会奉仕活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、5月の市ごみゼロ運動、10月の合瀬川清掃活動ともに中止となりました。

以下、会員状況、事業実績、事故状況等については、別表のとおりです。